

# 日本感情心理学会第 32 回大会

## 大会プログラム



2024年6月1日(土), 2日(日)  
(5月31日:プレカンファレンス)

大阪体育大学 (大阪府泉南郡熊取町)

---

## ご挨拶

この度、日本感情心理学会第32回大会を大阪体育大学にて開催する運びとなりました。歴史ある本学会の大会が開催できることを大変光栄に存じます。個人的な話で恐縮ですが、私が本学会に入会したのは大学院在学中でして、それ以来本学会を通じて実に多くの経験を積むことができました。研究発表の他、各種委員として運営面に携わる機会にも恵まれ、本学会に育ててもらったとの想いが強くあります。今回委員長として開催するにあたり、これまでに自身が受けたご恩を少しでもお返しできるよう誠心誠意尽力する所存です。

さて、開催校の大阪体育大学ですが、スポーツ心理学に特化したコースをわが国で初めて設置したパイオニアでして、現在は大学院に博士後期課程も設置されています。本大会では、こうした本学の特徴や強みを活かした企画をご用意しました。感情心理学とスポーツ心理学は、実に多くの点で共通性を有するものと思われませんが、学会レベルでの両者の交流はこれまで十分でなかったように見受けられます。多くの先生方のご協力のもと、両者の接点を共有できるような機会に携わることができて大変嬉しく思います。今回はまた、スポーツに加えて、広く社会全体への研究成果の活用・還元という観点からのシンポジウムも開催いたします。企業の最前線でご活躍の先生方にご登壇いただき、感情研究やその成果がどのように社会実装されるのかについてお話しいただく予定です。これらの大会行事は、その内容はもとより、研究者としてどのようにキャリアを積むかという点でも非常に興味深く、特に若手の方々にとって大いに刺激になればと期待が膨らみます。本大会では特にテーマは設けませんが、基礎研究と応用・実践研究の架け橋といった内容で構成されている点が特色といえるでしょう。

本大会の運営面に目を向けると、本学会として初めて託児ルームを設置いたします。初の試みのため不手際も多いと思いますが、子育て世代の研究者のキャリアを支え、会員と学会のより一層の飛躍につながるよう環境づくりに努めます。

最後になりましたが、今回の開催にあたり、多くの先生方にご協力を賜りました。委員にご就任いただいた会員の先生方、また大阪体育大学スポーツ心理・カウンセリングコースの先生方と大学院生に、この場をお借りして心より感謝申し上げます。

日本感情心理学会第32回大会  
大会実行委員会委員長  
手塚 洋介（大阪体育大学）

大阪体育大学マスコットキャラクター  
BOUHSEAR（ボーシャー）



# 大会行事・大会スケジュール

## 1. 大会行事

会員による研究発表（口頭・ポスター），総会，特別講演，シンポジウム，プレカンファレンス，各種委員会，懇親会があります。

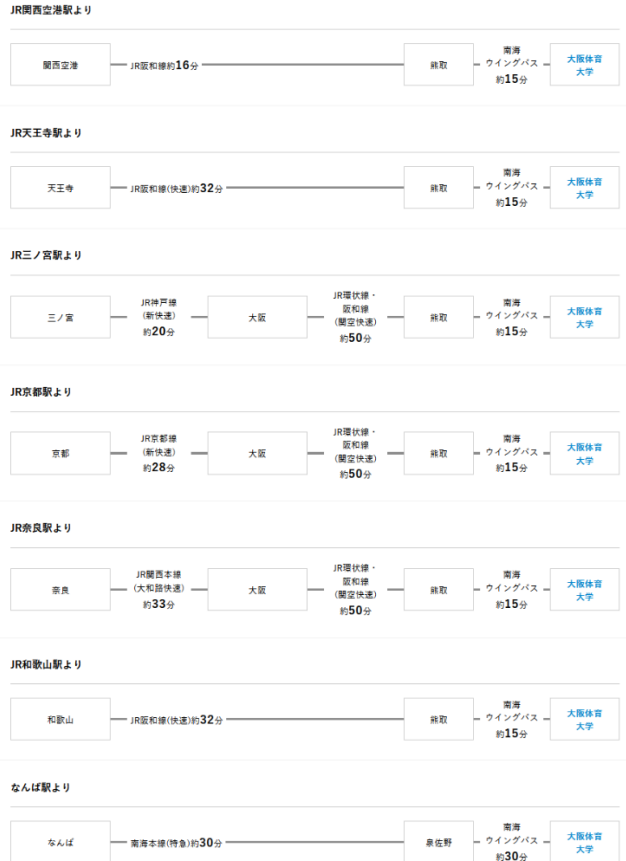
## 2. 大会スケジュール

	大会前日 5月31日（金）	大会1日目 6月1日（土）	大会2日目 6月2日（日）
8:30			受付開始
9:00		受付開始	
9:30		9:30-10:30 ポスター発表1 C201, C203	9:00-10:00 ポスター発表2 C201, C203
10:00			10:10-10:55 口頭発表5 D201
10:30		10:40-11:25 口頭発表1 D201	
11:00			11:05-12:05 特別講演 「スポーツ感情心理学への期待」 D201
11:30		11:30-12:15 口頭発表2 D201	
12:00			
12:30		12:20-13:10 感情心理学研究 編集委員会 C204	12:20-13:10 総会 D201
13:00		12:20-13:10 エモーション・スタ ディーズ編集委員会 C206	
13:30			
14:00		13:20-15:20 シンポジウム1 「アスリートの感情」 D201	13:20-15:20 シンポジウム2 「感情研究の社会実装」 D201
14:30			
15:00	14:30-16:00 プレカンファレンス1 「スポーツメンタルトレー ニングの実際」 C302		
15:30		15:30-16:15 口頭発表3 D201	15:30-16:30 口頭発表6 D201
16:00			
16:30		16:20-17:05 口頭発表4 D201	
17:00	16:10-18:10 プレカンファレンス2 「今，改めて問う「感情とは 何か」(4)」 C301		
17:30			
18:00		17:15-19:00 懇親会 C101	
18:30			
19:00			

# 大会会場（大阪体育大学）へのアクセス

## 1. 電車・車でのアクセス

大学の最寄り駅はJR阪和線「熊取」駅です。自家用車でもお越しいただけます。



## 2. 「熊取」駅から大阪体育大学への行き方

駅の東口を出て、下図①のバス停『熊取駅前』よりバスに乗車してください。南海バスをご利用の場合は『大阪体育大学前』（260円、会場直結）、和歌山バスの場合は『大阪体育大学口』（230円）で下車してください。乗車時間は約10～15分です。

※ 大学教職員用のマイクロバスに空席があればご乗車いただけます（無料）。手続きは特になく誰でもご利用いただけますが、専用乗り場(🚌)が混雑している場合はご遠慮ください。



月曜～金曜日		土曜日	
学校発	熊取駅前発	学校発	熊取駅前発
※	7:50	※	7:50
※	8:10	※	8:10
※	8:25	※	8:25
※	8:40	※	8:40
8:55	9:10	8:55	9:10
9:25	9:40	9:25	9:40
9:55	10:10	11:05	11:20
10:35	10:50	12:20	12:35
11:05	11:20	13:10	※
12:20	12:35	13:45	※
12:50	13:00		
13:50	14:05		
14:40	14:55		
15:30	15:45		
16:15	16:30		
16:40	※		
16:50	※		
17:15	※		
17:40	※		
17:55	※		

教職員用バス時刻表

### 3. バス時刻表（南海バス／和歌山バス）

#### ●南海バス

##### 熊取駅前

1番乗り場 発車予定時刻表

行先	時	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
平日	大阪体育大学前		32	30	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	7	9	10	31					
	[788][789][790] つばさが丘北口		24	5	53												25							
土曜	大阪体育大学前		2	2	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	13	13	22	10				
	[788][789][790] つばさが丘北口		35	10													52	52	36					
休日	大阪体育大学前		2	13	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	13	13	22	10				
	[788][789][790] つばさが丘北口		35	19													52	52	36					

○印：泉佐野駅前発のバスになります。渋滞で遅れる場合がございますので、ご了承ください。  
 休印：浪商学園前・大阪体育大学前を経由します。（泉佐野駅前発のため、渋滞で遅れる場合がございます。）  
 急印：熊取駅地行き  
 急印：浪商学園前のみ停車  
 急印：浪商学園前のみ停車。浪商学園休校日は運休  
 準印：準急。熊取駅には止まりません。

南海ウイングバス 本社営業所 TEL 072-467-0601 FAX 072-467-0971  
 交通事情により、ダイヤが乱れることがありますのでご了承ください。 2024年4月1日現在

##### 大阪体育大学前

熊取駅前・泉佐野駅前・つばさが丘方面 発車予定時刻表

行先	時	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	
平日	熊取駅前						18	45	45	45	45	45	25	0	0	0	30	30	0					
	[743][743急行][788] 泉佐野駅前												30	13	40	40			22					
土曜	熊取駅前						56	45	45	45	45	45	45	45	45	45	35	55						
	[743][743急行][788] 泉佐野駅前												19	28	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15
休日	熊取駅前						56	45	45	45	45	45	45	45	45	45	35	55						
	[743][743急行][788] 泉佐野駅前												19	28	15	15	15	15	15	15	15	15	15	15

▲印：急行・熊取駅前行き（浪商学園休校日は運休）  
 ◎印：泉佐野駅前発のバスになります。渋滞で遅れる場合がございますので、ご了承ください。  
 ＊印：急行・泉佐野駅前行き（浪商学園休校日は運休）  
 準印：準急。熊取駅には止まりません。

南海ウイングバス 本社営業所 TEL 072-467-0601 FAX 072-467-0971  
 交通事情により、ダイヤが乱れることがありますのでご了承ください。 2024年4月1日現在

#### ●和歌山バス

和歌山バス

##### 熊取駅前 のりば：1

急	<犬鳴山経由> 粉河駅前ゆき		
時	平日	土曜	休日
06			
07	30		
08	25	05	05
09	10	05	05
10	05	05	05
11		05	05
12	05	05	05
13		05	05
14	05		
15		05	05
16	05	05	05
17	05	05	05
18	15	05	05
19	15	05	05
20	05 55	05	05
21			
22	35		
23			
00			

お問い合わせ：(0736) 75-2151 2017年7月1日 現在

和歌山バス

##### 大阪体育大学前 のりば：1

急	熊取駅前ゆき		
時	平日	土曜	休日
06			
07	05	40	40
08	05 50	40	40
09	45	40	40
10		40	40
11	40	40	40
12		40	40
13	40		
14		40	40
15	40	40	40
16	40	40	40
17	50	40	40
18	40	40	40
19	40	40	40
20	25		
21			
22	15		
23			
00			


お問い合わせ：(0736) 75-2151 2017年7月1日 現在

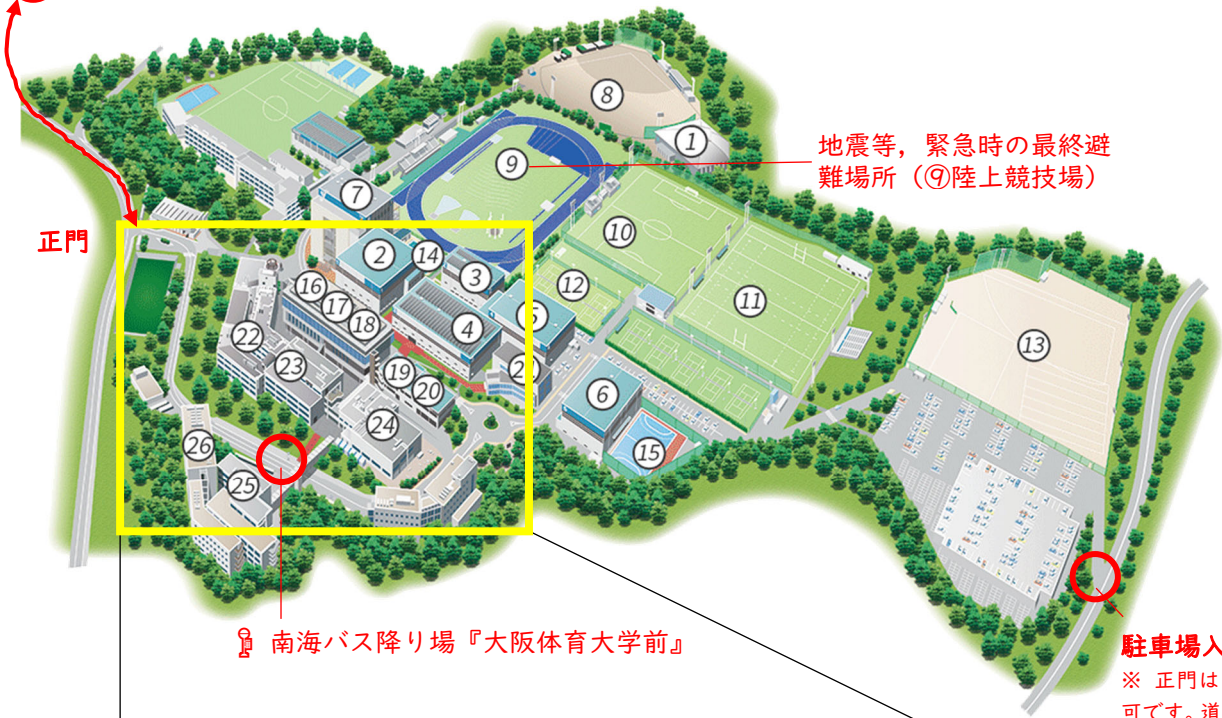
### 3. タクシー会社（連絡先）

大阪第一交通株式会社 0570-05-0152  
 新大阪タクシー株式会社 0724-66-1113  
 株式会社芝山タクシー大阪 072-479-9999

大阪エムケイ株式会社 06-7178-4441  
 新泉陽タクシー株式会社 0725-54-8778  
 株式会社世界産業 050-5480-5459

## 会場案内図 (キャンパスマップ)

 和歌山バス降り場『大阪体育大学口』※ 正門から徒歩2分 (セブンイレブン付近), 南海バスも停車します。



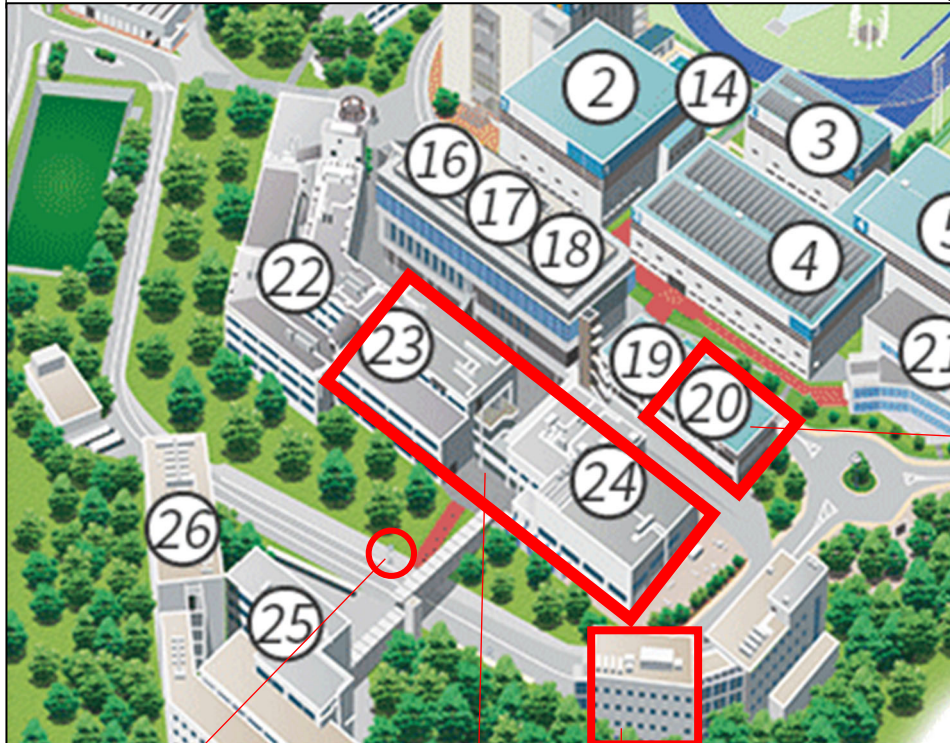
地震等, 緊急時の最終避難場所 (⑨陸上競技場)

正門


 南海バス降り場『大阪体育大学前』

駐車場入口

※ 正門は入構不可です。道なりに進んでください。  
※ 守衛に学会参加の旨を伝えて許可証を受け取ってください。



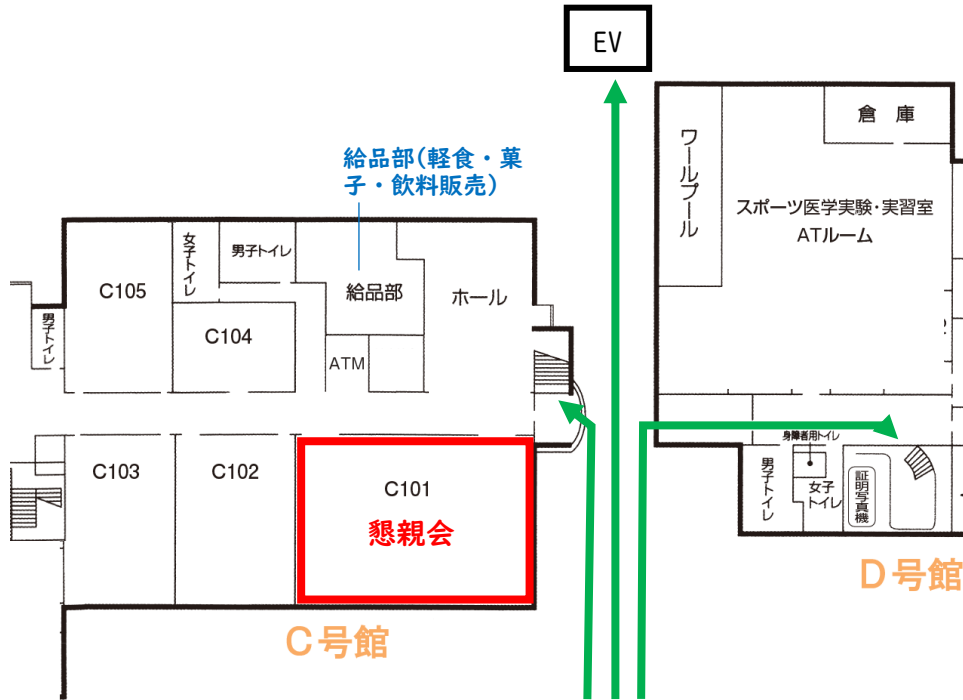
学生食堂 (⑳土曜のみ)

 南海バス『大阪体育大学前』  
※ 受付(⑳)へは階段をお上がりください

会場  
⑳C号館  
㉑D号館

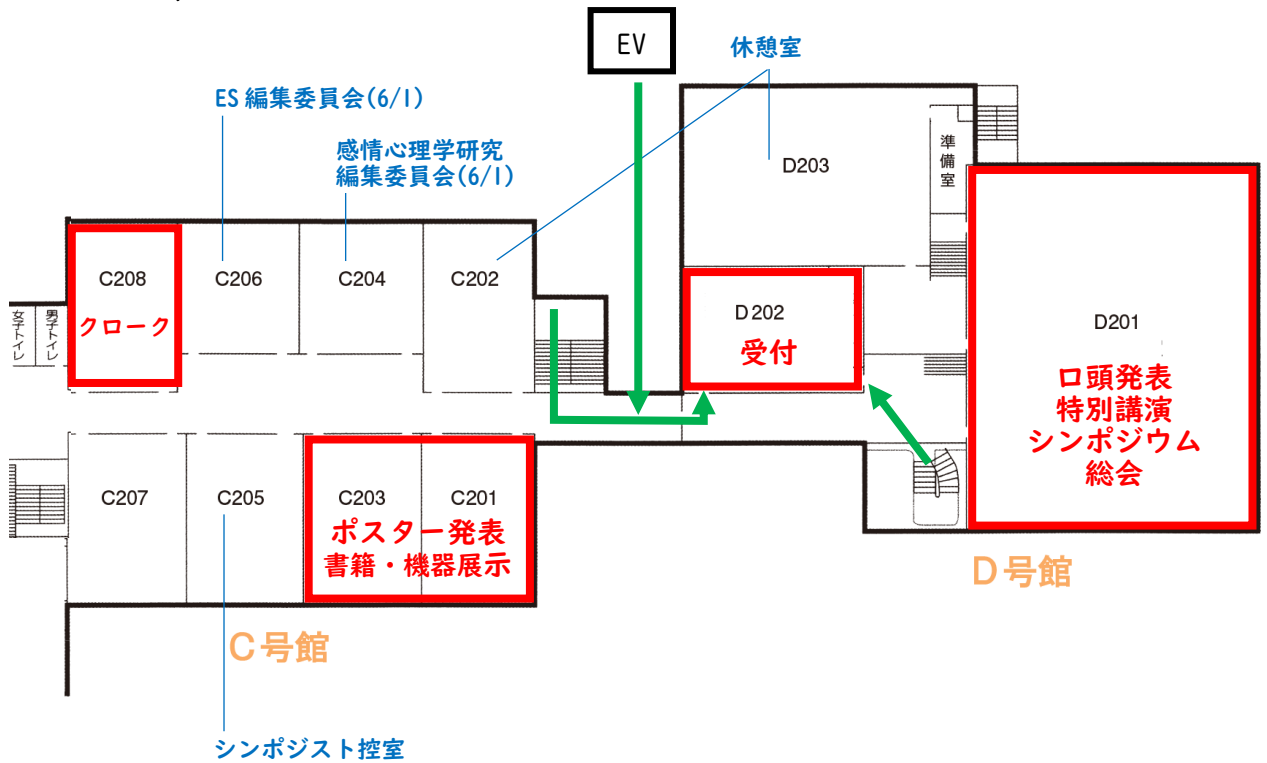
Yショップ  
(土日営業)

●会場 (C号館, D号館 1階)

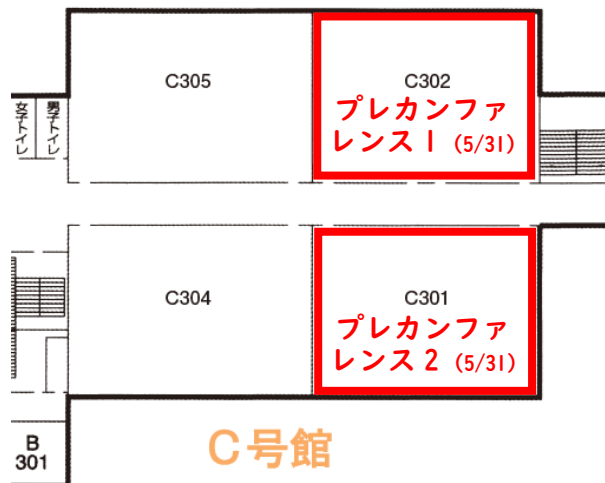


バス停から受付 ※プレカンファレンスはC号館階  
(D号館2階)への経路 段を3階までお上がりください

●会場 (C号館, D号館 2階)



●会場 (C号館 3階)



●学生食堂 (N号館 1階) ※土曜日のみ営業 (11:00-14:00)



※ 日曜日は食堂が営業しませんので、構内の各売店等をご利用いただく他、昼食をご持参いただくことをお勧めします。大学近辺に飲食店はありません。

※ 構内の売店として、ヤマザキYショップと給品部があります(いずれも土日営業)。

※ 構外 (正門から徒歩3分) にセブンイレブンがあります。



## 大会参加者へのご案内

### I. 大会受付

#### (1) 場所・日時

場所：大阪体育大学 D202 教室

日時：6月1日（土）9：00-16：30

6月2日（日）8：30-16：00

※ 5月31日（金）のプレカンファレンス時には設けていません。

#### (2) 受付手続き

##### 【大会の受付】

##### 1) 予約参加の方

- ・ 受付にて参加証と領収書，ネームホルダー，プログラム冊子をお渡しいたします。
- ・ 参加費が未入金の方は，当日参加としての参加費を現金でお支払いいただきます。
- ・ 大会当日の会員区分が申込時と異なり参加費に不足がある場合は，受付にて現金徴収させていただきます。
- ・ 非会員の「大学院生」または「学部生」の方は，大会当日に受付で学生証をご提示ください。在籍確認ができない場合は「一般」との差額を現金徴収させていただきます。

##### 2) 当日参加の方

- ・ 参加申込書に必要事項を記入し，受付にて以下の大会参加費を現金にてお支払いください。参加証と領収書，ネームホルダー，プログラム冊子をお渡しいたします。
- ・ 非会員の「大学院生」または「学部生」の方は，大会当日に受付で学生証をご提示ください。

会員区分	会員			非会員		
	一般	大学院生	学生会員	一般	大学院生	学部生
予約参加	6,000円	4,000円	1,000円	7,000円	5,000円	1,500円
当日参加	<b>7,000円</b>	<b>5,000円</b>	<b>1,500円</b>	<b>8,000円</b>	<b>6,000円</b>	<b>2,000円</b>

##### 3) 名誉会員の方

- ・ 受付にてお申し出ください。参加費が免除されます（日本感情心理学会細則第8条）。

##### 【懇親会の受付】

- ・ 当日申込の方および予約申し込みされた方で懇親会費が未納の方は，受付にて以下の懇親会費をお支払いください。会場はC号館1階（101）です。

会員区分	会員			非会員		
	一般	大学院生	学生会員	一般	大学院生	学部生
予約申込	5,000円	3,500円	3,500円	5,000円	3,500円	3,500円
当日申込	6,000円	4,000円	4,000円	6,000円	4,000円	4,000円

## 2. クローク (C208)

開設時間は以下の通りです。貴重品の管理はご自身でお願いいたします。なお、5月31日（プレカンファレンス）は開設しません。

6月1日（土） 9:00-19:10（懇親会終了10分後） ※懇親会時は閉室します

6月2日（日） 8:30-16:40

## 3. 昼食

構内の食堂と売店は以下の通りです。

- ・学生食堂 11:00-14:00（土） ※日曜日は営業しません
- ・ヤマザキYショップ 10:00-18:00（土）、10:00-17:00（日）
- ・給品部 8:30-15:00（土）、10:00-13:00（日）

大学近辺に飲食店はありません。日曜日は食堂が営業していませんので、構内の各売店等をご利用いただく他、昼食をご持参いただくことをお勧めします。なお、構外（正門から徒歩3分）にセブンイレブンがあります。

## 4. ご案内

### (1) 総会 (D201)

大会2日目の12:20~13:10に行われます。会員の皆様はご参加ください。

### (2) 各種委員会

以下の委員会が大会1日目の12:20~13:10に行われます。委員の方には事前に出欠確認を行っています。

- ・感情心理学研究編集委員会 C204
- ・エモーション・スタディーズ編集委員会 C206

### (3) 書籍・機器展示 (C201, C203)

企業による書籍および機器の展示がポスター発表会場にて行われます。是非お立ち寄りください。

**(4) 休憩室 (C202, D203)**

自由にご利用ください。

**(5) 託児ルームをご利用の方へ**

受付で利用料 (1,000 円/1 日) を現金でお支払いください。その他の詳細は別途ご案内いたします。

**(6) 構内について**

インターネット環境 (無線 LAN) は, eduroam (大学等教育研究機関の間でキャンパス無線 LAN の相互利用サービス) がご利用いただけます。詳細は以下の URL の他, ご自身の所属機関にお尋ねください。

<https://sites.google.com/ouhs.ac.jp/ouhsout/top/eduroam>

構内は全面禁煙です。喫煙所はありませんので, ご了承ください。

記録用のため, 会場の様子を撮影することがあります。ご了承ください。

## 研究発表者へのご案内

### 1. 発表方法について

#### (1) ポスター発表

- ・ セッションは 60 分です。発表要件は「セッション時間内のポスター掲示」と「掲示場所での責任在席時間内（30 分）の個別討論」です。
- ・ ポスターは会場の壁にテープで貼付いただきます。スペースは概ねヨコ 140cm×タテ 180cmです。テープは会場にご用意いたします。会場でのポスターの印刷は致しかねますのでご了承ください。

#### 【責任在籍時間】

- ・ 発表番号が奇数の方は前半 30 分間、偶数の方は後半 30 分間です。責任在籍時間中に会場係が確認に参りますので、ご協力ください。

#### 【自由掲示時間】

- ・ ご発表当日は、セッション以外の時間帯もポスターを掲示いただけます。その場合は、受付終了時間までにご自身のポスターを撤去してください。大会実行委員会ではポスターの処分は承っておりません。ポスターは必ずお持ち帰りください。

#### (2) 口頭発表

- ・ 会場にノート PC (OS: Windows10) を 1 台ご用意致します。使用可能なソフトウェアは PowerPoint (Microsoft Office 365) のみです。インターネットへの接続も可能です。また、発表者が持参したノート PC も使用可能です。VGA と HDMI にて接続できます。いずれの PC でも、セッション開始前に各自で動作確認を行ってください。
- ・ 口頭発表 1 題の持ち時間は、質疑応答を含めて 15 分間です。経過時間に合わせて、卓上ベルを鳴らして合図いたします。

1 鈴：10 分経過

2 鈴：12 分経過（発表終了の目安）

3 鈴：15 分経過（質疑応答を含む発表終了）

### 2. 発表抄録について

抄録を以下の期日までにご提出いただくことが、発表を公式に記録する要件となります。提出期限および詳細は以下の通りです。

大会発表賞の選考対象となることを「希望する」→ 2024 年 5 月 7 日（火）24 時

大会発表賞の選考対象となることを「希望しない」→ 2024 年 6 月 16 日（日）24 時

抄録様式：大会ホームページからダウンロードしてご使用ください。

送付先：第 32 回大会事務局宛 ([jsre2024@gmail.com](mailto:jsre2024@gmail.com)) に E-mail に添付してご提出ください。

### 3. 大会発表賞について

感情心理学会では例年、大会発表賞を設けています。各賞の詳細は以下になります（以下の鍵括弧内の文章は大会発表賞選考規程からの抜粋です）。ここでの第一著者とは、責任発表者（単独発表者または複数人での共同発表において主たる発表を担う筆頭発表者）を指します。

#### (1) 優秀発表賞

「当該年度の年次大会における研究発表中、学術的・社会的・教育的意義などの観点から特に優秀と評価される研究発表である。」

#### (2) 若手優秀発表賞

「当該年度の年次大会における若手が第一著者の研究発表中、学術的・社会的意義や将来性などの観点から特に優秀と評価される研究発表である。ここで、若手とは当該年度の年次大会の開催年度末日（3月31日）における年齢が30歳以下の者とする。」

※ 若手の方は優秀発表賞と若手優秀発表賞の両賞の選考対象になることができます。

#### 【エントリー方法】

優秀発表賞、若手優秀発表賞の選考対象となるには、2024年5月7日（火）24時まで以下に以下の両方の手続きが必要です。責任発表者が行ってください。

- ① 抄録を第32回大会事務局宛（[jsre2024@gmail.com](mailto:jsre2024@gmail.com)）にE-mailに添付してご提出ください。
- ② 記のエントリーフォームに氏名、メールアドレス等を記入して送信してください。  
エントリーフォーム URL <https://forms.gle/nDWSLQ5bcPESW+TT9>

#### 【選考プロセス】

優秀発表賞、若手優秀発表賞の選考は、抄録のみを審査する1次選考と大会当日の発表を審査する2次選考からなります。1次選考を通過した研究発表のみが2次選考の対象となります（第31回大会の選考過程は以下のURLをご参照下さい。<http://jsre.wdc-jp.com/pdf/senkoukatei2023.pdf>）。

第32回大会では、優秀発表賞と若手優秀発表賞にエントリーいただいた責任発表者の方が1次選考の審査者となり、エントリーされた研究発表へ投票いただくことにいたします。エントリーするときには、この点にご留意いただければと思います。

#### (3) 精励発表賞

「年次大会において第一著者として繰り返し研究を発表している会員に対して授賞する。」

#### 【エントリー方法】

精励発表賞の選考対象となるには、2024年7月2日（火）までに、必要書類を学会事務局（下記）に郵送にて提出する必要があります。詳細は大会ホームページにある以下のファイルをご参照ください。

- ・精励発表賞のお知らせ
- ・申請フォーム

#### 【書類郵送先（お問い合わせ先）】

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内  
日本感情心理学会事務局

TEL：03-6824-9380

E-mail：[jsre-post@as.bunken.co.jp](mailto:jsre-post@as.bunken.co.jp)

#### 【表彰】

受賞者決定後本人に通知し、メールニュースと学会HPで公表するとともに、次年度の年次大会（第33回大会）の懇親会にご招待して表彰させていただく予定です（懇親会参加費は免除されます）。

#### 4. 発表の取消について

何らかの事情により、参加・発表の取り消しを希望される方は出来るだけ早く第32回大会事務局にお知らせください。

なお、研究発表登録または予約参加申込の締切までに登録を完了され、事前参加費入金締切後に参加や発表を取り消される場合は、すでにご入金いただいた参加費等の返金については対応することができません。予めご了承ください。

# 発表プログラム

#印は日本感情心理学会非会員であることを示す

## 特別講演

6月2日(日) 11:05-12:05 D201 教室

### スポーツ感情心理学への期待

土屋 裕睦 先生

(日本スポーツ心理学会理事長, 大阪体育大学教授) #

#### 概要

スポーツ心理学は、スポーツに関わる人間やその行動を研究対象とし、主に心理学の研究方法で探求する学問であり、日本体育学会体育心理専門領域と日本スポーツ心理学会を研究のプラットフォームとして、およそ70年の歴史がある。この間スポーツも、学校体育から健康志向の運動へと拡大する中、昨今ではアスリートに対する支援のために、心理技法の開発やその実践が盛んであり、その担当者に対して「スポーツメンタルトレーニング指導士」という資格認定を行っている。この活動は、端的に言えば心理的アプローチによりパフォーマンスの向上や安定を図ろうとする取り組みであり、競技場面で生起する感情や認知、情動をどう扱うかが肝になる。支援の対象者は、運動部活動生からトップアスリートに至るまで幅広く、年代や性別、障がいの有無等により、そのアプローチにも工夫が求められるが、これまで感情に焦点をあてた体系的な研究はほとんどなされてこなかった。本講演ではスポーツ心理学が直面しているいくつかの課題を紹介しながら、スポーツを対象とした感情心理学への期待について述べたい。

#### ご経歴

日本スポーツ心理学会理事長、公認心理師、スポーツメンタルトレーニング上級指導士、日本オリンピック委員会科学サポート部門員、文部科学省「スポーツ指導者の資質能力向上のための有識者会議」(タスクフォース) 委員、日本スポーツ協会「コーチ育成のためのモデルコアカリキュラム作成」ワーキング座長等を歴任。

日本スポーツ心理学会最優秀論文賞、日本体育学会奨励賞、日本カウンセリング学会学校カウンセリング-松原記念賞等を受賞。





## シンポジウム I

6月1日(土) 13:20-15:20 D201 教室

### アスリートの感情

- 企画・司会 手塚 洋介 (大阪体育大学)
- 話題提供者 田中 美吏 (武庫川女子大学) #  
「プレッシャー下のパフォーマンス—運動制御からの理解—」
- 近藤 みどり (国立スポーツ科学センター) #  
「アスリートの誇りの構造と目標達成行動」
- 相羽 枝莉子 (横浜国立大学)  
「アスリートの感情制御とパフォーマンス」
- 指定討論者 有光 興記 (関西学院大学)

#### 概要

多角的な検討が進められているスポーツと感情との関係について、本シンポジウムでは競技スポーツに焦点を当て、特にアスリートの感情に注目したい。本邦のスポーツ心理学界にて感情研究をリードする中堅・若手の研究者に話題提供いただき、アスリートの感情を体系的に理解する機会とすべく企画した。アスリートへの注目はまた、感情の普遍的特徴を理解するうえでも極めて有用である。感情 (emotion) は、外へ (e-) の運動 (motion) という語源が示すように、ひとの身体運動に密に関連する要因であることから、卓越した水準による身体運動が求められるアスリートに注目することで、感情の本質的な理解にもつながるものと期待できる。本シンポジウムを通じて、アスリートの感情さらには感情それ自体の理解を深める機会にしたい。

## シンポジウム 2

6月2日(日) 13:20-15:20 D201 教室

### 感情研究の社会実装

- 企画・司会 門地 里絵 (花王株式会社感覚科学研究所)
- 話題提供者 小俣 貴宣 (ソニーグループ株式会社・慶應義塾大学) #  
「産業・社会の問題解決に向けた心理学の活用  
—心理学の専門性を効果的に活用できる人材の育成—」
- 河島 三幸 (花王株式会社感覚科学研究所)  
「化粧が彩る感情体験—化粧品研究の社会実装事例—」
- 指定討論者 入戸野 宏 (大阪大学人間科学研究科)

#### 【概要】

2022年にエモーション・スタディーズ誌において、「感情研究の社会実装」をテーマに特集号を発刊した。特集号では、社会において感情研究が製品やサービスに実装されている現状について紹介し、感情に関心を持つ研究者に、社会応用的な視点の取得や、異なる科学分野と協働する意識を促すことで、感情関連研究の社会活用を促進することを目的としていた。特集号では多様な実装の姿を紹介することができた一方で、そのほかの心理学分野と比較した場合の、感情研究ならではの強みや特徴までには議論が至らなかった。感情という現象は生活に身近であり、感情研究は他の分野よりも製品開発の上で、生活の中から着想を得る機会に恵まれている。また、消費者の好悪反応・選択行動は産業活動においては大きな関心事であり、感情研究から発信できる情報は多い。本シンポジウムでは、心理学の視点から産業界で研究開発活動を推進する第一線の話者提供者に登壇いただき、感情の研究ならではの強み・弱みについて、フロアを交えて議論を深め、未来の感情研究の活用について、その将来性と課題について論考したい。

# プレカンファレンスⅠ

5月31日(金) 14:30-16:00 C302 教室

## スポーツメンタルトレーニングの実際 ——大阪体育大学 SMT チームの取り組みを例に——

企画 大会実行委員会

### 【企画趣旨】

大阪体育大学では、日本スポーツ心理学会認定の「スポーツメンタルトレーニング指導士」の資格取得を目指す大学院生で構成された「学生スポーツメンタルトレーニング(SMT)チーム」を2010年に立ち上げ、大学内のアスリートを対象に心理サポートと呼ばれる実践活動を行っている。また、他大学と連携して学生 SMT 研究会も開催しており、実践と研究の両面にわたって精力的に活動を行っている。本企画では、学生 SMT チームの取り組みを中心に、SMT についての概説と実践内容に関するワークショップを3部構成で行う。第1部では、学生 SMT チーム顧問の菅生貴之氏(大阪体育大学、スポーツメンタルトレーニング上級指導士、公認心理師)より、SMT の基本的枠組みと SMT 指導士資格について紹介する。第2部では、学生 SMT チームの心理サポートの実践例を紹介する。第3部では、学生 SMT チームが大学新入生アスリートを対象に行っている適応支援プログラム「新入生サポート」の一部をワークショップ形式で行い、体験的に SMT への理解を深める機会を提供する。

## プレカンファレンス 2

5月31日(金) 16:10-18:10 C301 教室

### 今、改めて問う「感情とは何か」(4)

#### ——基本感情理論を問い直す——

企画 武藤世良(お茶の水女子大学)・白井真理子(信州大学)

#### 【企画趣旨】

企画者は2017—2019年度にプレカンファレンス「今、改めて問う『感情とは何か』」(1) — (3)を実施し、「感情とは何か」を参加者とともに考え続けてきた。こうした取り組みの一環として、今夏、日本発達心理学会で哲学者のAndrea Scarantino教授(ジョージア州立大学)を招聘する機会を得、日本感情心理学会でも学術セミナーを開催する運びとなった(8月上旬に東京開催を予定)。Scarantino教授には、感情(emotion)の概念・定義・理論研究の最前線について記念講演をいただく予定である。

Scarantino教授は、近年基本感情理論や進化的理論に関する問い直しが測られている中、感情の科学的定義の方法や、新しい基本感情理論(New Basic Emotion Theory: New BET)、感情の動機づけ理論(Motivational Theory of Emotions: MTE)等の理論を提唱しており、基本感情理論の修正や改善に貢献してきた。しかし、Scarantino教授の理論や考えは、現在の日本の感情心理学研究に深く浸透しているとは言い難く、哲学的議論は難解な部分もある。そこで、本プレカンファレンスでは、Scarantino教授の「感情(emotion)とは何か」の考え方について、また氏が基本感情理論をいかに問い直し、新しい主張を行ってきたかについて、氏の主要文献についての理解を深められるような読書会的な話題提供を行う。

## 口頭発表 1

6月1日(土) 10:40-11:25 D201 教室  
座長 関谷 大輝 先生(東京成徳大学)

- OS1 感謝体験者が恩人を守るための第三者犠牲  
—未来の第三者ならば犠牲にしやすいのか—  
山本 晶友(早稲田大学)
- OS2 あなたの「ありがとう」はワンコインで姿を変える  
—商業的サービスにおける顧客の感謝と負債感情の検討—  
荒川 玲音(長谷エシニアウエルデザイン)  
関谷 大輝(東京成徳大学応用心理学部)
- OS3 構成的グループ・エンカウンターが顕在的・潜在的シャイネスに及ぼす影響  
稲垣 勉(京都外国語大学共通教育機構)  
澤海 崇文(流通経済大学共創社会学部)

## 口頭発表 2

6月1日(土) 11:30-12:15 D201 教室  
座長 村上 裕樹 先生(大分大学)

- OS4 香が作業成績に及ぼす影響  
吉川 大智(大分大学福祉健康科学部)  
村上 裕樹(大分大学福祉健康科学部)
- OS5 マインドフルネスに基づくスクラッチアートを用いたテスト不安低減効果の検討  
山口 真子(関西学院大学)
- OS6 感情表出の事前実施が緊急事態時の行動を改善させる  
上田 真由子(追手門学院大学経営学部)  
武内 寛子(西日本旅客鉄道株式会社鉄道本部安全研究所) #  
和田 一成(西日本旅客鉄道株式会社鉄道本部安全研究所)  
臼井 伸之介(西日本旅客鉄道株式会社鉄道本部安全研究所) #

### 口頭発表 3

6月1日(土) 15:30-16:15 D201 教室  
座長 木村 昌紀 先生(神戸女学院大学)

- OS7 読書経験が共感能力に及ぼす影響  
山口 留垂(社会医療法人生長会府中病院)
- OS8 物語読書による共感回避の低減  
武内 俊樹(東京大学)  
鈴木 敦命(東京大学)
- OS9 今ここで他者の感情をいかに制御するのか  
——感情による制御方略と非言語行動の差異——  
山本 恭子(神戸学院大学心理学部)  
木村 昌紀(神戸女学院大学人間科学部)

### 口頭発表 4

6月1日(土) 16:20-17:05 D201 教室  
座長 米谷 充史 先生(神戸大学)

- OS10 他者との相互作用に応じた状態孤独感の変動  
米谷 充史(神戸大学大学院人文学研究科)  
柳澤 邦昭(神戸大学大学院人文学研究科) #
- OS11 高校生における問題のあるゲーム使用と対人関係の関連について  
鎌田 真実(北翔大学大学院臨床心理学専攻)  
入江 智也(北翔大学教育文化学部心理カウンセリング学科) #
- OS12 ノンアルコールビール摂取は飲酒渴望を増やす  
西村 誠(鈴鹿医療科学大学/東京都立大学)  
井上 和哉(東京都立大学)

## 口頭発表 5

6月2日(日) 10:10-10:55 D201 教室  
座長 福田 哲也 先生 (流通科学大学)

- 0S13 日本語版軽蔑傾向尺度の作成—因子構造および構成概念妥当性の検討—  
福田 哲也 (流通科学大学人間社会学部)
- 0S14 選択式問題で生じた後悔がその後の学習に及ぼす影響；フィールド実験による検討  
隅田 莉央 (東京大学)  
清水 佑輔 (東京大学) #  
村本 由紀子 (東京大学) #
- 0S15 エモーショナル・エピステミシティ  
—情動の次元の一つとしてのエピステミック (認識) 情動—  
金澤 佑 (大阪大学)

## 口頭発表 6

6月2日(日) 15:30-16:30 D201 教室  
座長 池田 慎之介 先生 (金沢大学)

- 0S16 幼児期における感情の座の理解：頭部が交換可能なキャラクターを用いた検討  
池田 慎之介 (金沢大学)
- 0S17 高齢者が持つ顕在的・潜在的な高齢者ステレオタイプとウェルビーイングの関連  
佐藤 研一郎 (東京都健康長寿医療センター研究所)  
高橋 佳史 (東京都健康長寿医療センター研究所) #  
小川 将 (東京都健康長寿医療センター研究所)  
山城 大地 (東京都健康長寿医療センター研究所) #  
高橋 知也 (東京都健康長寿医療センター研究所) #  
清水 佑輔 (東京都健康長寿医療センター研究所) #  
鈴木 宏幸 (東京都健康長寿医療センター研究所) #

OS18 声と内容の感情表出が異なる刺激における声の聞こえ方（声質）の変化

池本 真知子（同志社大学心理学部）

菊谷 まり子（金沢大学国際基幹教育院）#

OS19 ポジティブおよびネガティブな気分における意図的笑顔のダイナミクス

Perusquia Hernandez Monica (Nara Institute of Science and Technology)

図師 直弥 (Nara Institute of Science and Technology, University of Tsukuba)

綾部 早穂 (University of Tsukuba) #



## ポスター発表 1-1

6月1日(土) 9:30-10:30 C201 教室

奇数番の発表者の責任在籍時間は 9:30-10:00, 偶数番の責任在籍時間は 10:00-10:30 です

- PSI-1 感動は何色?—感動, 畏敬感情の主観身体反応と色評価の検討—  
加藤 樹里 (金沢工業大学)  
山本 哲也 (徳島大学) #  
李 楊 (名古屋大学) #  
大平 英樹 (名古屋大学)
- PSI-2 覚醒時と夢における感情の不連続性と感情抑制傾向の関連性についての予備的分析  
吉岡 佑衣 (京都大学大学院教育学研究科)
- PSI-3 認知的感情制御の短期的ストレス緩和効果と方略間の相互作用  
—ネットワーク分析を用いて—  
陳 暁雪 (立命館大学)
- PSI-4 安静時脳活動からみた感情調節方略の神経基盤の探索  
大平 育世 (千葉大学子どもこころの発達教育研究センター)
- PSI-5 日本語版 The child version of the Cognitive Emotion Regulation  
Questionnaire (CERQ-Jk) の再検査信頼性の検討  
則武 良英 (川崎医療福祉大学医療福祉学部)  
小林 亮太 (福岡県立大学人間社会学部)
- PSI-6 感情労働に「ご不満」なときは役割から距離をおこう  
—見過ごされてきた表層演技の一側面が及ぼす効果と影響—  
嶋本 文菜 (豊島区役所)  
関谷 大輝 (東京成徳大学応用心理学部)
- PSI-7 感情への命名が認知的再評価に及ぼす影響: ネガティブな感情分化の観点から  
岡村 百香 (京都大学大学院教育学研究科教育学環専攻)  
高橋 雄介 (京都大学大学院教育学研究科教育学環専攻) #
- PSI-8 成人自閉症スペクトラム障害者が体験する「主体」の様相  
細川 晃士郎 (大阪市中央こども相談センター)

- PSI-9 視点取得傾向は緊張感の透明性錯覚を低減するか？  
村田 光二（成城大学社会イノベーション学部）

## ポスター発表 1-2

6月1日（土）9:30-10:30 C203 教室

奇数番の発表者の責任在籍時間は9:30-10:00、偶数番の責任在籍時間は10:00-10:30です

- PSI-10 現代日本人の否定的感情の対象集団—主な対象集団に対する感情と認知—  
河野 和明（東海学園大学心理学部）  
中村 真（宇都宮大学国際学部）
- PSI-11 現代日本人の否定的感情の対象集団—恐怖・嫌悪・怒りの関連性と独立性—  
中村 真（宇都宮大学国際学部）  
河野 和明（東海学園大学心理学部）
- PSI-12 「推し」という好意、「推す」という行為(第2報)  
—推し活に潜む嗜癖行動化のリスクを検証する—  
石川 奈々（JA全農青果センター株式会社）  
関谷 大輝（東京成徳大学応用心理学部）
- PSI-13 処理流暢性と自我関与が不安喚起広告の説得効果に及ぼす影響  
西端 玲美（金沢工業大学）  
伊丸岡 俊秀（金沢工業大学）#  
加藤 樹里（金沢工業大学）
- PSI-14 外国への親近感と経済協力・寄付の関係  
—「外交に関する世論調査」メタ分析に基づくODA・寄付の比較検討—  
玉村 優奈（東京大学大学院新領域創成科学研究科／日本学術振興会特別研究員）
- PSI-15 「蛙化現象」体験に影響する恋愛経験や性格的要因に関する研究  
—蛙化現象は本当に恋愛経験不足や自信の無さから生じるのか？—  
高橋 誠（神奈川大学人間科学部）
- PSI-16 在日中国人における孤独感の捉え方と対処行動  
林 萍萍（大阪商業大学）

PS1-17 借金の額は精神的苦痛と関連するのか？  
—「満足度・生活の質に関する調査，2022」を用いた検討—  
中井 和弥（神戸松蔭女子学院大学）

PS1-18 新型コロナウイルスへの恐怖に関連した心身の反応に関する特徴（2）  
—新型コロナウイルス恐怖尺度と他のストレス尺度との相互関係—  
佐藤 俊彦（江戸川大学社会学部）

## ポスター発表 2-1

6月2日（日）9:00-10:00 C201 教室

奇数番の発表者の責任在籍時間は9:00-9:30，偶数番の責任在籍時間は9:30-10:00です

PS2-1 くやしさはどのような場面で喚起されるのか？  
白井 真理子（信州大学）  
手塚 洋介（大阪体育大学）

PS2-2 切なさ感情の概念構造とその特徴  
溝脇 風子（京都大学大学院教育学研究科）  
楠見 孝（京都大学大学院教育学研究科）#

PS2-3 悲しみと切なさの違い—プロトタイプ・アプローチから—  
長峯 聖人（江戸川大学社会学部）  
白井 真理子（信州大学人文学部）

PS2-4 失敗経験における友人からの慰めが恥に与える影響  
—友人との心理的距離および失敗経験の重大性に着目した検討—  
金田 直之（名古屋大学大学院教育発達科学研究科）

PS2-5 情動的摂食がもたらす食後の満足と後悔への影響  
長橋 宙夢（名古屋大学教育発達科学研究科）

PS2-6 一般成人に対してのマインドフルネスストレス低減法の実践報告(1)  
関谷 祐史（関西学院大学）  
八木 美佳（公立学校 SC）#  
石井 克弥（関西学院大学）#  
坂浦 伶菜（関西学院大学）

有光 興記 (関西学院大学)

PS2-7 反すうの諸側面と気そらし傾向・注意制御の関連について  
—経験サンプリングによる検討—

石川 遥至 (早稲田大学)

PS2-8 罪悪感とセルフコントロールとの関連：経験サンプリング法による検討  
古川 善也 (福岡大学人文学部)

PS2-9 小学校低学年児童のアサーション・トレーニング・プログラムの検討  
高橋 均 (広島大学大学院人間社会科学科教職開発専攻)

## ポスター発表 2-2

6月2日(日) 9:00-10:00 C203 教室

奇数番の発表者の責任在籍時間は 9:00-9:30, 偶数番の責任在籍時間は 9:30-10:00 です

PS2-10 内受容感覚喚起によるリスク行動の抑制—バイオフィードバックの効果—  
伊崎 翼 (高知工科大学)

日道 俊之 (高知工科大学) #

榊 美知子 (University of Tübingen) #

PS2-11 日本語版 Body Perception Questionnaire-Autonomic Reactivity (BPQ-AR) 短縮版  
の信頼性, 妥当性の検討

小林 亮太 (福岡県立大学人間社会学部)

本多 樹 (広島大学デジタルものづくり教育研究センター)

町澤 まろ (株式会社 Xiberlinc) #

PS2-12 顔のほてりに対する内受容感覚と他者の感情強度の評定との関連性

石川 直樹 (慶應義塾大学社会学研究科/日本学術振興会特別研究員)

梅田 聡 (慶應義塾大学心理学専攻) #

PS2-13 直感的信頼の年齢関連差：米国政治家の顔画像を用いた概念的追試

鈴木 敦命 (東京大学)

石川 健太 (専修大学) #

大久保 街亜 (専修大学) #

PS2-14 顔情報の道具的効用に関する信念と顔情報希求行動の関連

塚本 恭平 (東京大学大学院)  
石川 健太 (専修大学) #  
大久保 街亜 (専修大学) #  
鈴木 敦命 (東京大学)

PS2-15 感情経験の年齢ステレオタイプが高齢者と若年者の顔からの表情認知に及ぼす影響

河原 美彩子 (東京大学大学院人文社会系研究科/日本学術振興会)  
鈴木 敦命 (東京大学大学院人文社会系研究科心理学研究室)

PS2-16 全盲の視覚障害者の笑顔表出について

図師 直弥 (奈良先端科学技術大学院大学/筑波大学)  
Felix Dollack (奈良先端科学技術大学院大学) #  
綾部 早穂 (筑波大学) #  
鈴木 健嗣 (筑波大学) #  
Perusquia Hernandez Monica (Nara Institute of Science and Technology)

PS2-17 日本語版 Lifespan Self-Esteem 尺度の作成に関する基礎研究②

—リッカートの選択肢の違いで測定される SE はどう変わるのか—

野口 太輔 (中村学園大学)  
賀屋 育子 (こころとそだち研究会)  
横嶋 敬行 (信州大学教職支援センター)  
小野 拳 (新潟こども医療専門学校) #

PS2-18 いじめ被害経験からの回復のために、教師は何ができるか

—潜在的自尊感情への影響に対する教師サポートの調整効果—

横嶋 敬行 (信州大学教職支援センター)  
賀屋 育子 (こころとそだち研究会)  
野口 太輔 (中村学園大学)  
小野 拳 (新潟こども医療専門学校) #

# 北大路書房

〒603-8303 京都市北区紫野十二坊町12-8

☎ 075-431-0361 FAX 075-431-9393

https://www.kitaohji.com(価格税込)

## 感情制御ハンドブック

—基礎から応用そして実践へ— 有光興記監修 飯田沙依亜, 榎原良太, 手塚洋介編著 A5上製・432頁・定価6160円 本邦で展開されてきた多彩な感情制御研究を一望できる書。基礎理論に始まり, 社会・人格・認知・発達・臨床・教育, さらには経済・司法・労働までの各分野における最新知見を8部31章21トピックで紹介。

## サッカー選手・指導者のためのメンタルガイド

松山博明編著 堀野博幸, 夏原隆之, 永野智久, 松竹貴大著 四六・288頁・定価2860円 サッカーの指導者と選手に向けて, モチベーションやピークパフォーマンスを高める方法, 意思決定能力を養うトレーニング法, 怪我やバーンアウトへの心理的対処法, チームビルディングの考え方など, スポーツ科学に基づく知見をわかりやすく紹介。

## 人はいかに学ぶのか

—授業を変える学習科学の新たな挑戦— 全米科学・工学・医学アカデミー編 秋田喜代美, 一柳智紀, 坂本篤史監訳 A5・396頁・定価4620円 『How People Learn (邦題: 授業を変える)』から20年間で明らかになった知見に基づき再構成された最新版。脳科学・神経科学, 動機づけ研究や文化等多様な切り口から人の「学び」に迫る。

## ドムヤンの学習と行動の原理 [原著第7版]

M. ドムヤン著 漆原宏次, 坂野雄二監訳 B5上製・424頁・定価7920円 学習心理学の泰斗・ドムヤンによる米国で評判のテキスト, 待望の邦訳。行動の誘発, 強化, 制御, 消去, 変容に関わる学習の原理, およびその広範な活用について, 神経科学の裏づけを加えつつ新たな研究知見を紹介。

## 感情心理学ハンドブック

日本感情心理学会企画 内山伊知郎監修 A5上製・480頁・定価8800円 感情に纏わる様々な研究を渉猟し現時点の到達点を示す。個人内過程, 個人間の差異, さらに社会との関わり, という観点から内容を構成。自己, 身体, 脳, 認知, 発達, 進化, 文化, 人間関係, コミュニケーション等のテーマを扱う。

## コーチング心理学ガイドブック

S. オリオーダン, S. バーマー編著 徳吉陽河監訳 A5・336頁・定価4620円 心理学に基づくコーチングの基礎や研究等を紹介。信頼関係の築き方やアセスメント等の主要トピックから, 会社やスポーツなどでの応用, コーチング心理学の限界と未来まで包括的に解説。個人と組織の持続的成長やウェルビーイング向上に貢献したい実践家・研究者必読の書。

## 授業を変える

—認知心理学のさらなる挑戦— 米国学術研究推進会議編著 森 敏昭, 秋田喜代美監訳 A5・340頁・定価4180円 人はいかに学ぶのだろうか。この疑問にこたえようとする認知心理学の研究成果をもとに, すぐれた授業実践のあり方を問う。研究と実践の橋渡しを見事に成功させた「授業を変える学びの認知心理学」。

## 生理心理学と精神生理学 第I巻 基礎

堀 忠雄, 尾崎久記監修 坂田省吾, 山田富美雄編集 B5・320頁・定価4180円 第I巻では生理心理学の歴史的な経緯も含め, 主に研究法の基礎的内容を扱う。脳とそれ以外の生体反応を区分し, その測定技術および解析の仕方について詳述する。基礎的知見の体系的理解を得るために国家資格試験の試験対策としても好適。II巻応用, III巻展開の全3巻。

心理学って面白そう!  
どんな仕事で活かされている?

シリーズ **心理学と仕事** (全20巻) **完結!** シリーズ 監修 太田信夫

●A5判・148~232頁・定価2200~2530円

- |             |            |            |             |                |
|-------------|------------|------------|-------------|----------------|
| 1 感覚・知覚心理学  | 2 神経・生理心理学 | 3 認知心理学    | 4 学習心理学     | 5 発達心理学        |
| 6 高齢者心理学    | 7 教育・学校心理学 | 8 臨床心理学    | 9 知能・性格心理学  | 10 社会心理学       |
| 11 産業・組織心理学 | 12 健康心理学   | 13 スポーツ心理学 | 14 福祉心理学    | 15 障害者心理学      |
| 16 司法・犯罪心理学 | 17 環境心理学   | 18 交通心理学   | 19 音響・音楽心理学 | 20 ICT・情報行動心理学 |

## 経頭蓋電気刺激装置 【基礎医学研究用機器】

# Neurostim

### 小型の経頭蓋非侵襲性電気刺激デバイス

- コンパクトな本体とバッテリー駆動による高い携帯性
- USB経由でPCに接続して詳細な刺激設定が可能
- 二重盲検刺激のための研究モード
- 最大250セッションのメモリ
- 刺激中の電極インピーダンスをモニター

#### 刺激タイプ

- tDCS (経頭蓋直流刺激)
- tACS (経頭蓋交流電流刺激)
- tRNS (経頭蓋ランダムノイズ刺激)
- tDSC-Sham (経頭蓋直流刺激+シヤム)
- tPCS (経頭蓋パルス電流刺激)
- カスタム波形(tACS)  
ホワイトノイズ波形など読み込んで刺激できます



## ワイヤレス脳波キャップ

# Neuro-DCcap

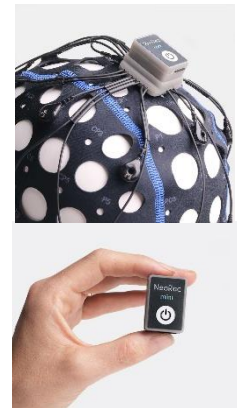
【基礎医学研究用機器】

取外し可能な電極を配置した脳波計用電極キャップに装着する軽量・小型のワイヤレス脳波計

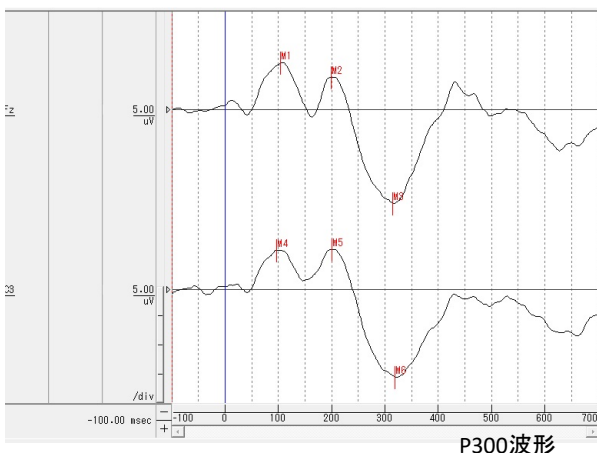
- 生体医学および研究用途のための16ch or 21ch DC EEGアンプ
- 16ch, 21ch, 21ch mini の3タイプ
- 24 bit分解能 サンプリング 1000Hz
- PCとBluetooth通信でデータ収録
- 21ch, 21ch mini は本体のmicro SDカードにも収録が可能
- 頭囲24cmから66cmまで12サイズのキャップ
- 高品質なAg/AgCl 焼結電極
- トリガー入力ボックスや延長ケーブルのオプションを用意
- ポリグラフ計測も可能 (EEG, ECG, EOG, EMGなど)
- 動作時間 21ch mini: 4時間, 21ch: 12時間, 16ch: 16時間



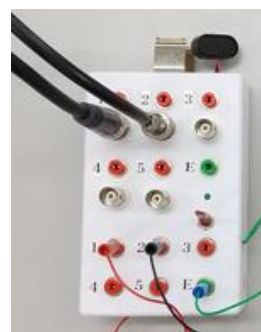
16ch, 21ch



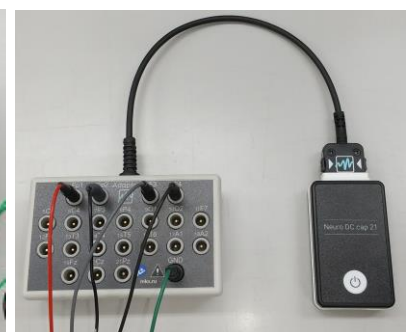
21ch mini



P300波形



外部トリガー入力ボックス  
(光アイソレーション)



DIN入力ボックス

\*附属のソフトウェアは、脳波やイベントを様々なフォーマット (EDF+16 bit, BDF+ 24 bit, GDF 32 bit) で記録したり、ストリームLSL (Lab Streaming Layer) でオンライン転送できます。  
\*データの解析には 別途解析用ソフトウェアが必要になります。

**EMC**  
East Medic Corporation

**イーストメディック株式会社**

〒920-0062 石川県金沢市割出町702番2

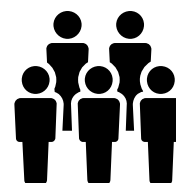
TEL: 076-239-4761 FAX: 076-239-1771 URL: <http://www.east-medica.jp>

学術研究・論文のための調査なら | GMO リサーチ & AI の

# アカデミック リサーチ

## 国内・海外に豊富なアンケートモニター数

国内最大級 2,800 万人以上のアンケートモニター「Japan Cloud Panel」、  
アジア全域 5,800 万人以上のアンケートモニター「Asia Cloud Panel」を保有しています。  
なお、北米・欧州などアジア地域以外も  
アンケートモニターネットワークを利用して調査可能です。



## 国立・私立大学で全国 200 校以上の取引実績数

国立大学、私立大学など全国約 200 校以上でのインターネットリサーチを用いた  
調査実績がございます。なお、研究・論文対象の調査だけではなく、  
卒業論文など学生を対象にした低価格設定も GMO リサーチ & AI の特徴です。



## Qualtrics など様々なプラットフォームに誘導可能

アンケート画面作成～ローデータ納品までの通常サービスだけではなく、  
既に貴学でご利用されているアンケートプラットフォーム（※）へ  
当社の国内・アジアのアンケートモニターを誘導するサービス提供もしています。  
そのため、通常サービスよりさらに低コストで調査実施が可能です。

※Qualtrics、SurveyMonkey、Google Forms など実績あり



# GMO RESEARCH & AI

お問合せ先：

GMO リサーチ & AI 株式会社

事業開発本部 国内営業部 アカデミックリサーチ担当

中村 史歩

shiho.nakamura@gmo-research.ai 080-2038-5860

WEB サイト：

<https://gmo-research.ai>





# Measurement and Processing

**MP**  
Measurement and Processing

お陰さまで

20周年

MaP工房は  
Measurement and Processingにおける  
道先案内人を目指します。

## ● 生体アンプ

ポリメイト、心電・筋電・脳波アンプ、テレメータ  
非観血連続血圧計、脈波計、NIRS

## ● 解析プログラム

事象関連電位解析、自律神経解析  
リアルタイム生体パラメータ解析、脳波解析  
筋電図解析、各種刺激装置 など

## ● 実験用デバイス・ユニットの製造開発

PICやFPGAを利用した制御や計測I/Fもカスタムメイドで対応！

■取扱い品目 生体信号計測処理システム、医療用機器、情報処理機器  
ソフトウェア設計開発・販売・コンサルティング

**ニホンサンテク株式会社**

MaP工房

MaP工房事業部 / 大阪市阿倍野区晴南通9-40 〒545-0032

Tel:06-6652-5984 <https://www.wp.santeku-map.com>

# 日本感情心理学会第32回大会

## 賛助企業・団体ご芳名

### 【広告・展示】

株式会社北大路書房

イーストメディック株式会社

### 【広告】

GMO リサーチ & AI 株式会社

ニホンサンテック株式会社

### 【大会開催助成】

大阪体育大学

本大会を開催するにあたり、上記企業・団体各位により多大なご支援を賜りました。ここにそのご芳名を記して、心から感謝の意を表します。

2024年5月

日本感情心理学会第32回大会  
大会実行委員会委員長  
手塚 洋介

# 日本感情心理学会第32回大会

## 大会実行委員会

### 委員長

手塚 洋介（大阪体育大学）

### 事務局長

森岡 陽介（大阪経済大学）

### 委員

竹原 卓真（同志社大学）

山本 恭子（神戸学院大学）

藤村 友美（同志社大学）

菅生 貴之（大阪体育大学）

白井 麻子（大阪体育大学）

小菅 萌（大阪体育大学）

### 【連絡先】

〒590-0496 大阪府泉南郡熊取町朝代台1番1号

大阪体育大学体育学部スポーツ心理・カウンセリングコース（手塚研究室）内

日本感情心理学会第32回大会事務局

E-mail: [jsre2024@gmail.com](mailto:jsre2024@gmail.com)

大会ホームページ: <http://jsre.wdc-jp.com/conf/2024/index.html>

本物を学び、極める



## Research

競技力の向上、教育の発展、スポーツ文化の振興、健康の増進に寄与する本物の研究

## Education

豊かな教養と体育学・スポーツ科学・教育学に関する確かな専門知識を備えた本物の人材を育成

## Ability

一人ひとりに合った探究心を育み、広い視野を持ち、学び続けていく自分をつくる能力

## Linkage

体育・スポーツ・教育とその人材育成の力を活かし、一人ひとりと社会をつなぐ、多様な社会貢献



**大阪体育大学** **OSAKA UNIVERSITY OF HEALTH AND SPORT SCIENCES**  
| スポーツ科学部 | 教育学部 | 大学院 |



ホームページ  
<https://www.ouhs.jp/>



入試情報サイト  
<https://www.ouhs.jp/nyushi/>



@ouhs.kouho



@OUHSPR



@daitaidaikoho



@daitaidaikoho



@daitaidai

